

1. 実施の概要

期 間	令和5年11月6日～令和5年11月13日
対 象	検討委員14名

意見等への対応

番号	ご意見等（要約）	検討結果	対応
1	<p>素案P30 1.小平市の現状 2行目</p> <p>（現状）本市の観光に関わる現状を整理すると以下のとおりとなります。</p> <p>↓</p> <p>（提案）本市の観光まちづくりに関わる現状を整理すると以下のとおりとなります。</p> <p>「観光」と「観光まちづくり」の混在や、書き分けの理由がわかりにくい部分があると思いました。基本的には、「観光まちづくり」と記述したほうがよい部分がほとんどではないでしょうか。</p>	意味が大きく変わらない限り、「観光まちづくり」の表記を使用していく。	反映
2	<p>素案P32 2.小平市の課題の解消に向けて （1）観光振興の視点から</p> <p>「ターゲット」という表現はふさわしくないと感じます。</p> <p>（現状）4 子どもや子育て世代をターゲットにした観光戦略づくり</p> <p>↓</p> <p>（提案）4 子どもや子育て世代に向けた観光まちづくり戦略づくり</p> <p>また、ここでは「観光振興の視点から」という節ですが、ここでの考えかたとしては、テーマパークや遊園地をつくるという意味ではないので、以下のように表現してはどうでしょうか。</p> <p>（現状）少子高齢化の加速を抑えるための策として、本市へ移住（転入）することによる人口の増加も必要となります。そのため、子どもや子育て世代が本市に興味を持つ一因として、子どもや子育て世代をターゲットとした取組に力を入れていきます。</p> <p>↓</p> <p>（提案）少子高齢化を積極的に減速するため、本市への若年世代や子育て世代の転入を促進し、転出を減らす施策が期待されています。子どもや子育て世代が本市に興味を持つことができるような取り組みに力を入れていきます。</p>	施策名は子どもや子育て世代に向けた観光戦略づくり とする。 説明文は参考にさせていただき、一部を反映。	一部反映

番号	ご意見等（要約）	検討結果	対応
3	<p>素案P32 2.小平市の課題の解消に向けて （1）観光振興の視点から</p> <p>施策1 （現状）協働による観光の振興 ↓ （提案）協働による観光まちづくりの振興</p> <p>施策4 （現状）子どもや子育て世代をターゲットとした観光戦略づくり ↓ （提案）子どもや子育て世代に向けた観光戦略づくり</p> <p>7章 P37、P44の施策タイトルも同様</p>	<p>施策1は観光振興の視点のため、まちづくりは入れない。 施策4は一部反映</p>	一部反映
4	<p>素案P39 プラン11 地産地消の推進及び情報発信（旧プランNo. 23）説明文</p> <p>（現状）小平市で生産されている農産物を入手できる場を増やすとともに、情報発信を強化します。また、農産物を学校給食において使用することで地産地消の取組を推進するとともに、学童農園の情報なども含めて情報を発信し、特に、子育て世代が魅力を感じるきっかけづくりに活かしていきます。</p> <p>↓</p> <p>（提案）「学校農園」のことについても追加してはどうでしょうか。「学校給食」と少し関係があり、取り組む学校も多く、実際育てたものを調理して食べているので、子どもにとってはとてもよい取り組みだと思います。</p>	<p>学童農園に関する記述を入れた</p>	一部反映
5	<p>素案P42 プラン24 企業博物館等のPR（旧プランNo. 33）説明文 1行目</p> <p>（誤）ブリヂストンTODAY ↓ （正）ブリヂストン イノベーション ギャラリー</p>	<p>文言修正のため反映</p>	反映
6	<p>素案P42 プラン27 アートに触れられる環境整備（旧プランNo. 37）説明文 2行目～</p> <p>（誤）「武蔵野美術大学」があり、年間を通じて図書館を開放しているとともに、 ↓ （正）「武蔵野美術大学」があり、年間を通して美術館で企画展示が公開されるとともに、  図書館ではなく美術館です。図書館は開放されていません。</p>	<p>文言修正のため反映</p>	反映
7	<p>素案P44 プラン35 子育て世代を対象にした観光まちづくり情報の整備 説明文</p> <p>（現状）「子どもや子育て世代が本市に訪れてみたい、住み続けたいと思うきっかけになるよう、子育て世代に向けた観光まちづくり情報の集約や情報発信の強化を図ります。」 ↓ （提案）これより前に記載されているまち巡りガイドツアー（プラン34）との違いを明確にしたほうがよいです。</p>	<p>文言修正のため反映</p>	反映

番号	ご意見等（要約）	検討結果	対応
8	<p>素案P33（２）まちづくりの視点から ３ 特色ある自分たちのイベントづくり 説明文</p> <p>（現状）地域特有のイベントをさらに活性化させ、強化します。既存のイベントを活用することは もちろん、自分たちで企画段階からイベントをつくることで、さらに地域のにぎわいを創出していきます。</p> <p>↓</p> <p>（提案）「市民主体のイベントを行うことで、より『自分のまち』と実感できる。」というような市民主体の表現を入れる（シビックプライドがイベントにも反映されるように）</p> <p>２ 市民主体性の醸成 にもありますが、３においても追記してはいかがでしょうか。</p>	<p>「自分のまち」の文言を追加しシビックプライドが反映される文言に修正</p>	一部反映
9	<p>素案P43 プラン33 魅力的な商店会づくり（旧プランNo. 50） 説明文</p> <p>（現状）商店会や小型店舗、個人商店ならではのきめ細やかなサービスの提供や、人と人とのふれあい、人情を通じた魅力ある商店会づくり等を推進することで、市民のシビックプライドの醸成や、住みたくなるまちづくりを推進していきます。</p> <p>↓</p> <p>（提案）「おとずれてよしの観点から、小平の商店としてのおもてなしの心で訪れた方へ関わる」のような文があると住みたくなるまちづくりに近づくと思いました。</p>	<p>「おもてなし」を追加</p>	一部反映
10	<p>ご意見提出用紙 ３．目標指標について</p> <p>①「来訪者満足度の向上」、②「住民快適性の向上」とともに賛成です。②に快適性に加え、生活充実度のよいものを入れるのはいかがでしょうか。</p>	<p>②は小平市政に関する世論調査の分析結果を指標として想定している。結果に定住意向、生活環境についての指標があるので検討する。</p>	参考
11	<p>素案P30～ 第５章「観光まちづくりにむけた課題」について</p> <p>以下の意見を提案します。</p> <p>①HP、SNS等での広報情報をひとまとめにし、ネット世代にも分かりやすく見やすくワクワクするような最新情報を随時配信する。</p> <p>②ブルーベリー商品の開発後、年毎チェックリニューアルしていかないと美味しさが保たれない。ブルーベリーを美味しい魅力的な商品として、小平から売り出していく方法が不足している。</p>	<p>① 2小平市の課題の解消に向けて （1）2情報発信の強化に反映</p> <p>②令和4年に小金井市のフレンチレストランと島村農園がコラボしてクレームブリュレ等を東京駅のイベントブースで販売したが、PRが不十分であった。情報発信も含めて検討する。</p>	<p>①反映 ②参考</p>
12	<p>素案P37～ 第７章「観光まちづくりにむけたアクションプラン」について</p> <p>クアオルトウォーキングと野外でのヨガを推奨します。今後の市民の健康寿命を高めるためにも、玉川上水緑道や各所観光スポット、個人商店や最新の飲食店やカフェなど、商工会とも連携し、人気のまち歩きにもう一つ付加価値をつけて、展開させていたけたら市外からの観光にもつながると思います。</p>	<p>アクションプラン40に付加価値を加筆する</p>	一部反映

番号	ご意見等（要約）	検討結果	対応
13-1	<p>ご意見提出用紙 3. 目標指標について</p> <p>目標指標の達成に向けて、以下の取組等を提案します。</p> <p>①「来訪者満足度の向上」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンロードなど玉川上水緑道の自然×ヨガ×クアオルトウォーキング×人気のカフェのツアー、まちめぐりを行ってはどうでしょうか。ツアーガイドも、世代別に増やすべきだと考えます。温泉（テルメ小川やこもれびの足湯）とセットにすると尚満足度が高まると思うので、交通機関を充実させる必要があります。</li> <li>・市民だけのまち歩きではなく、市外からの来客も増やすべく定期的に魅力的なツアーをつくって発信し、参加してもらう。</li> </ul> <p>②「住民快適性の向上」 → 本市に住み続けたいと思う人を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直売所情報を配信する。</li> <li>・公民館や地域センターなど、小平市にはたくさんあるが情報を知らない人や、疎遠する人も多い。→シニア世代の居場所だと思われるため。知人友人からの口コミだけでなく、広げるには文字ではなくネットでの配信や、Googleマップでの書き込みが大事だと思います。</li> <li>・空き家問題を今後どうしていくか。→Renovat Japan という団体があります。雇用問題と居場所、そしてリノベーションの軸で今後の課題をクリアしていく画期的な活動です。</li> </ul>	<p>ご意見をいただいた個別具体的な事業案を参考にして、目標の達成に努める。</p>	参考
13-2	<p>ご意見提出用紙 3. 目標指標について （続き）</p> <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスツーリズムについて、クアオルトウォーキングも含めて展開してみたいです。</li> <li>・地域活性化の案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・お配りするおやつを、地域のものでお試し。→宣伝。お土産斡旋。</li> <li>・島村農園ブルーベリー摘み取り＋ブルーベリースィーツ la Rose<sup>フランス</sup> or cafe miel →地域商業応援</li> <li>・オープンガーデン→アロマ浴でチェアヨガ＋ハーブティータイム＋グリーンロードウォーク＋足湯</li> <li>・農レンジャー＋採れたて野菜丸かじりor 焼いて食べるor スムージー ＋直売所巡りorムーちゃん広場＋ムーちゃん屋上ヨガ</li> <li>・鈴木遺跡→観光と散策＋コゲラの森でヨガ→ベンズファームブルーベリー摘み取り＋eggでブルーベリーパンケーキ</li> <li>・野菜大好きさん集まれ！チャリっと🚲こだいら直売所めぐり＋こだいら野菜を使ったお店でランチ</li> <li>・小金井公園でyogaウォーキング＋話題のスポット！tacosメルカドでメキシコを学ぶ食べる＋栽培発祥の地しまむらブルーベリー園にてブルーベリー狩り🍷</li> <li>・学園坂商店街ランチと雑貨屋さん＋トウキョウジョウウ×浴衣着物で巡る ふるさと村 グリーンロードウォーキング</li> <li>・小平ママさんイベントや雑貨屋さん巡り</li> <li>・注目のcafe &amp; スィーツ巡り</li> <li>・美味しいお酒を飲もう～クラフトビールと日本酒BAR巡り</li> </ul> </li> </ul>	<p>ご意見をいただいた個別具体的な事業案を参考にして、目標の達成に努める。</p>	参考

番号	ご意見等（要約）	検討結果	対応
13-3	<p>ご意見提出用紙 3. 目標指標について （続き）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンロード癒しと体験の旅 <ul style="list-style-type: none"> <li>・こだいら観光プレウォーク～7月土曜で2回2パターン開催</li> <li>・一橋学園駅→花小金井駅 学園坂商店街ママ雑貨屋さん(ws体験も?)→トウキョウジョウ×浴衣着物で巡る ふるさと村 グリーンロードウォーキング→カフェランチRoseブランシュ→黄金茶屋、トウクトウク体験、世界のビール→直売所（ムーちゃん広場屋上ヨガ） →浴衣ならばウォーキング後に自分deリフレ →私服ならばグリーンロード沿いにてパークヨガ</li> </ul> </li> <li>・花小金井駅周辺 小金井公園でyogaウォーキング＋話題のスポット！tacosメルカドでメキシコを学ぶ食べる＋栽培発祥の地しまむらブルーベリー園にてブルーベリー狩り□</li> <li>・鷹の台駅周辺 しょう'sベーカリー、torpet、kiki record、シントン、パンカフェめぐり→オープンガーデン→アロマ浴でチェアヨガ＋ハーブティーでランチタイム＋グリーンロードウォーク→日本酒BAR（足湯、直売所、雑貨屋、鷹の台公園、中央公園ヨガもあり、ママさんお庭市に合わせるのも良）</li> </ul>	ご意見をいただいた個別具体的な事業案を参考にし、目標の達成に努める。	参考
14	<p>素案P30～ 第5章「観光まちづくりのむけた課題」について</p> <p>27ページ（2）課題 では、以下の順番で記されていますが、大きく括ったとき「ぶれ」があるのではと思います。</p> <p>これを、国の状況⇒市の状況⇒観光資源・関係・交流人口⇒今後の体制 の並びにして、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 少子高齢化、現役世代人口の減少</li> <li>② 知名度が低い</li> <li>③ 消費につながるコンテンツや回遊するための仕掛けが少ない</li> <li>④ 遠方来訪者の目的となる固有資源が少ない</li> <li>⑤ 若者来訪者が少ない（来訪者は主にシニア層が多い）</li> <li>⑥ 市民の参画</li> <li>⑦ 関連分野・組織との連携</li> </ol> <p>としたほうがわかりやすいのではないのでしょうか。</p>	並び順を変更。	反映

番号	ご意見等（要約）	検討結果	対応
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合計 7 つの施策に記載されたアクションプランに若干の偏りがあると思います。</li> <li>・ 4 年間という期間の中で 4 3 ものアクションがあるのは多いと感じます。</li> <li>・ 概念的なものもあれば、妙に細かい記載も混在しています。</li> <li>・ 施策 3 が半数以上を占めるのに違和感を覚えました。</li> <li>・ 「再掲」ばかりが目立ってしまっている感があります。アクションプランの「重なり」はあると思いますが、説明文も全文再度記載する必要までではないと感じます。施策固有のプランの最後に、「このほか、以下のプランは本施策のアクションとしても考えられます」等の1行に続き、施策名のみ再掲で良いのではと思います。</li> </ul>	<p>プラン:7情報発信の強化は内容が重複しているため削除。</p> <p>プラン13市民や様々な主体が連携したイベントづくりは施策7に移動。</p> <p>プラン14庁内観光業務の情報共有、15多様な組織との連携、16近隣自治体との連携強化は施策1に移動</p> <p>プラン21メディア取材の誘致の名称をメディア露出機会の拡大に変更し施策2へ移動</p> <p>プラン38地域公共交通との連携強化の名称を地域公共交通や事業者との連携強化に変更</p> <p>施策2におけるプラン2、施策3におけるプラン1を同一目的での再掲になるため削除。</p> <p>再掲は施策名のみ</p>	一部反映

番号	ご意見等（要約）	検討結果	対応
16	<p>ご意見提出用紙 3. 目標指標について</p> <p>① 「来訪者満足度の向上」→ 年間入込客数を現在（※令和4年度）の1.2倍に増やす  東京都の観光客数等実態調査アンケートに小平市も参加しているのであれば、指標として良いと思います。  この調査では、都全体では令和4年度(2022年度)の来訪者は、インバウンドを除けば2019年並みに回復とされているので、比較元としても適切だと思います。  また同調査では「観光消費額」もあると思うので、こちらも合わせると尚良いのではと思いました。  ただ、小平市の同調査での経年推移はわかりませんが、「20%増」というのはちょっとハードルが高いのでは、とも感じます。</p> <p>② 「住民快適性の向上」 → 本市に住み続けたいと思う人の割合を現在（※令和4年度）より10%上昇させる  市民を対象にした具体的な調査が定期的に行われているのであれば良いと感じました。  しかし、共通して言えるのは、「市民は比較元を知らない」こと。より具体的な値を示してはいかがでしょうか。</p> <p>①であれば、「年間入込客数を2022年のXXX万人から20%増となるXXXX万人に増やす」  ②であれば、「住み続けたいと思う市民の割合を、2022年現在のXX%からXX%へ、10%上昇させる」など。</p> <p>上記以外でKGI（Key Goal Indicator:目標達成指標）は、以下のようなものでも良いかとも思いました。  ・市町村魅力度ランキング（イメージ効果測定：定期的に実施している会社あり）  ・市内7駅における定期外収入（人流効果測定：西武鉄道・JR東日本開示資料）  ・市内商店・飲食店等小規模事業者の税収（経済効果測定：市でデータがあれば）  いずれもFrom-Toで定量的に効果を示せるものではないかと思います。</p>	<p>①認知度に変更。  ②は小平市政に関する世論調査の分析結果を指標として想定している。結果に定住意向、生活環境についての指標があるので検討する。  具体的な値に関してはFrom-Toで表示するように検討する。</p>	一部反映
17	<p>素案P42 プラン22 ストーリー性を持った歴史的景観のPR（旧プランNo. 29） 説明文</p> <p>（現状）玉川上水、用水路、寺院・神社など地域の歴史を掘り起こし、武蔵野新田の開発などのPR方法を検討します。特に玉川上水の小平市区間は他にない独自の景観であることの十分なアピールを行います。</p> <p>↓</p> <p>（提案）「平坦な地形」という特徴を核にすると、外部者にも小平のイメージが伝わりやすいストーリーが作れるのではないかと思います。</p>	<p>地形の特徴、平坦な地形を加筆</p>	一部反映
18	<p>ご意見提出用紙 3. 目標指標について</p> <p>来訪者満足度と年間入込客数は必ずしも直結しない点が気になりましたが、入込客数も重要かつ明確な指標なので、他委員のご意見を尊重したいと思います。</p>	<p>認知度に変更</p>	参考

番号	ご意見等（要約）	検討結果	対応
19	<p>素案P31 第5章「観光まちづくりにむけた課題」（2）課題</p> <p>整理・集約された7つの課題（少子高齢化、知名度等）が明記されていますが、着手・傾注すべき課題の優先順位を明確にすべきと捉えます。</p> <p>例えば、「①遠方来訪者の目的となる固有資産が少ない」という課題に対し『グリーンロード』活用に傾注し、「②関連分野・組織との連携」を図り「③消費に繋がるコンテンツや回遊するための仕掛けが少ない」という問題を解消する。結果的に「④知名度が低い」という問題が解消されることにより「⑤市民の参画」が増加し『⑥若者来訪者が少ない』という問題に着手する。</p> <p>最終的には「⑦少子高齢化、現役世代人口の減少」という問題に着手するという、「観光まちづくりに向けた課題」に対する明確なロードマップを策定すべきと考えます。</p>	<p>14の意見をもとに課題を並び替え。アクションプランに重点項目を設置。</p> <p>ロードマップに関する文章が加筆できるか検討を行う。</p>	一部反映
20	<p>素案P37～ 第7章「観光まちづくりにむけたアクションプラン」について</p> <p>多数存在する各アクションプランは同時進行で遂行されるように捉えられる為、上記（本資料19番）で策定したロードマップに当てはめ（実施期間を明確にしたうえで段階的且つ集中的に実施するようなイメージ（図表）を挿入するとよりアクションプランが実現可能なイメージを抱かれると考えます。</p>	<p>ロードマップに関する文章が加筆できるか検討を行う。</p>	参考
21	<p>ご意見提出用紙 3. 目標指標について</p> <p>「年間入込客数を現在の1.2倍に増やす」とあるが、①小平市の何処に（主に何が要因で？）②どのような層が（年齢・性別）③増えた事による経済効果（飲食・小売業者の売上増加率）等も含めた目標設定と効果測定が必要であると考えます。※人流解析を推奨します</p>	<p>目標設定は認知度調査に変更する。</p>	参考
22	<p>素案P28-29 第4章「小平市観光まちづくり振興プランの振り返り」2.戦略2 情報発信環境の整備</p> <p>キャッチフレーズ「都会から一番近いプチ田舎」をキーワードに一環したプロモーションを行ってきたことを記載すべきです。</p> <p>「プチ田舎」を商標登録したこと、小平市の公式X(旧ツイッター)および公式フェイスブックでは「プチ田舎 東京都小平市」をアカウント名としたこと、2017年6月に放送されたJ:COM (Jテレ)『ご当地サタデー♪東京都小平市』においても、市長自ら、「プチ田舎小平のでっかい魅力」としてPRをしたことなど、「都会から一番近いプチ田舎」が、市全体のシティプロモーションの基軸となったことは特筆すべき成果であり、前プランの振り返りとして記載すべきです。</p>	<p>P.28に加筆</p>	反映
23	<p>（本資料22番に関連して）素案P29 3行目</p> <p>「一方、映画撮影やアニメ舞台を誘致することで、市の知名度の向上を図ることを目指してきましたが、施設や対応職員の確保など、受け入れ態勢が整わず、思うような成果を上げることができませんでした。」とありますが、コロナ禍で、マイクロツーリズムが注目されるなか、テレビ東京『モヤモヤさまぁ〜ず2』『都会から一番近いプチ田舎！東京・小平市ブラブラ』（2020/9/6放送）などの番組で、「プチ田舎」というキーワードが着目され、大きく取り上げられたことも大きな成果だと言えます。これらの成果から、新プランでは、映画やアニメにこだわらず情報番組などにシフトチェンジしていくことにつなげていくので、そのような点に触れていきたいです。</p>	<p>P.25に加筆</p>	反映



番号	ご意見等（要約）	検討結果	対応
24	<p>素案P5 第1章「策定の目的と位置付け」 1. 策定の目的</p> <p>9行目のこだいら観光まちづくり協会の設立と併せて、キャッチフレーズ「都会から一番近いプチ田舎」を軸に展開してきたことについて言及してほしいです。</p>	第1章「策定の目的と位置付け」のプラン名に都会から一番近いプチ田舎を加筆	反映
25	<p>素案P31 第5章「観光まちづくりにむけた課題」（2）課題</p> <p>課題の1点目に、少子高齢化、現役世代の人口減少が掲げられていますが、このような全国的な課題に対して、小平市においては人口は微増局面にあり、今後4年間でも減少に転じるかは不明です。その理由は、農地の減少と宅地転化が進行しているからであり、観光まちづくりの視点からは、地域固有の景観資源の減少の方が課題としては大きいです。玉川上水を起点として開かれたまちの歴史(新田開発)を保全・活用していくことが重要であり、少子高齢化、現役世代の人口減少よりも、「まちの歴史を感じられる地域資源・観光資源の減少」といった点を取り上げるべきではないでしょうか。</p>	本プランは人口減少が始まる前に地域活性化を推進するものである。減少幅にかかわらず課題として捉え、取り組む必要がある。地域資源、観光資源の減少については地域活性化に内包	参考
26	<p>(本資料25番に関連して)素案P32 2. 小平市の課題の解消に向けて (1) 観光振興の視点から</p> <p>(現状) 3 観光資源の活用や広域連携の推進、回遊性の向上</p> <p>↓</p> <p>(提案) 「観光資源の保全・活用や……」といったように「保全」という言葉を記載するべきであると考えます。</p>	保全は活用 に内包 とする	参考
27	<p>素案P38 第7章「観光まちづくりにむけたアクションプラン」施策2 情報発信の強化について</p> <p>・施策の中で、もっとも重要なのが「プラン21 メディア取材の誘致」であり、最上位に記載するべきだと考えます。</p> <p>・「PESOモデル」（次の①～④の頭文字をとったもの）</p> <p>①ペイドメディア（Paid Media）：費用を支払い、広告を掲載するメディア</p> <p>②アーンドメディア（Earned Media）：テレビ等、第三者目線から情報が発信されるメディア</p> <p>③シェアードメディア（Shared Media）：SNSによる第三者からの口コミ情報</p> <p>④オウンドメディア（Owned Media）：自社が所有・管理し発信するSNS等</p> <p>の考え方から、新振興プランでは、②アーンドメディア（Earned Media）の積極的活用がもっとも重要であり、「プラン21 メディア取材の誘致」と「プラン6 パブリシティの強化」の二つが該当するため、この二つを施策の頭にかきたいと考えます。ついで、④オウンドメディア（Owned Media）の活用が重要であり、「プラン4 観光ポータルサイトの作成」（※観光まちづくり協会のサイト作成済みなので、「観光ポータルサイトの充実」などに要変更）と「プラン5 SNSの活用」がきます。</p> <p>・「プラン7 情報発信の強化」は施策名とプラン名が同一であり、P. 28課題解消に向けての「情報発信の強化」の説明文と内容が重複するので、アクションプランとしては削除して良いのではないのでしょうか。</p>	事務局としては反映意向。委員会で検討	反映

番号	ご意見等（要約）	検討結果	対応
28	<p>素案P47 プラン40 市民や様々な主体が連携したイベントづくり（旧プランNo. 39, 40, 42）説明文</p> <p>（現状）市民や様々な主体が参加し、小平でしか味わえない付加価値のある話題性・インパクトに富んだイベントを企画、実施するとともに、まつり等は準備段階から多くの市民が参加できる環境づくりを進めます。また、年間イベント情報の集約・一元管理を行う仕組みづくりと、様々な主体が連携した効果的な情報発信のあり方について検討を行っていきます。</p> <p>↓</p> <p>（提案）ここ数年市民が「参加」するだけでなく、市民が「企画・運営」するイベントも増えてきています。（例 みんなでパや、クラフトフェスタなど）観光まちづくり協会では、イベントを実施したい市民のアドバイスなどもしているので、「企画、実施、支援…」という記述はどうでしょうか。</p>	加筆	反映
29	<p>素案P42 プラン23 観光ガイドの養成（旧プランNo. 30）説明文</p> <p>（現状）市内各所のエリアごとに観光ガイドを養成し、見どころ案内等を行います。</p> <p>↓</p> <p>（提案）現在は「エリアごとのガイド」ということはなく、ガイドは一通り市内各所の案内ができます。ガイドの経験や得意分野の違いなどガイドによって個性や差異はあるが、「エリアごと」という記述は修正したいと考えます。</p>	テキスト修正	反映
30	<p>素案P45 基本目標2 住民快適性の向上 住んでよし！の観光まちづくり</p> <p>「施策5 関連分野・組織との連携」は、再掲が多いです。また、「施策6 市民主体性の醸成」や「施策7 特色ある自分たちのイベントづくり」の方が、より施策として重要度が高いと考えます。そのため、「施策5 市民主体性の醸成」「施策6 特色ある自分たちのイベントづくり」「施策7 関連分野・組織との連携」と並べ替えてはどうでしょうか。</p>	事務局としては反映意向。委員会で検討	反映

番号	ご意見等（要約）	検討結果	対応
31	<p>ご意見提出用紙 3. 「目標指標について」</p> <p>目標数値の設定については賛成します。 項目ですが、小平市にとっては、認知度向上が重要であり、情報発信施策の効果を検証したいと考えます。 マーケティング調査の成果を踏まえて、以下のような目標設定はどうでしょうか。</p> <p>【認知度】 素案P18「小平市の認知度」より、「・・・実質的な認知度は 39.7%と低いことがうかがえます。」 →実質的認知度 50%以上</p> <p>【市民主体／シビックプライド】 素案P25「小平市を象徴するイメージ『多様で魅力的な人々が地域を盛り上げようとしているまち』」より、「『そう思う』（「非常にそう思う」、「ややそう思う」の合計）は、21.3%・・・」 →肯定的意見 30%以上</p> <p>【にぎわい／イベント】 P.22「小平市を象徴するイメージ『イベントが多く幅広い年代が楽しめるまち』」より、「『そう思う』（「非常にそう思う」、「ややそう思う」の合計）は、13.9%・・・」 →肯定的意見 30%以上</p>	入込客数→認知度	一部反映
	<p>【子育て】 素案P26「小平市を象徴するイメージ『子育て・教育によい文教のまち』」より、「『そう思う』（「非常にそう思う」、「ややそう思う」の合計）は、45.3%・・・」 →肯定的意見 50%以上</p> <p>【やさしい暮らし／住民快適性】 素案P26「小平市を象徴するイメージ『やさしい暮らしに出逢うまち』」より、「『そう思う』（「非常にそう思う」、「ややそう思う」の合計）は、42.3%・・・」 →肯定的意見 50%以上</p> <p>【メディアへの登場回数】 テレビ、新聞、雑誌等のアーンドメディア（Earned Media）への登場回数などの目標値を掲げてはどうでしょうか。現在これはカウントしていないので、2024年度を起点として、カウントをスタートして4年後に1.5～2倍など。</p>	入込客数→認知度	一部反映